

門川ひろゆき



魅力を感じるまち・選んでもらえるまち枚方をつくる
～枚方市の成長を確かなものにし、持続的発展が可能なまち「枚方」を目指します～

編集・発行 門川 紘幸 / 令和4年3月発行 / 枚方市中宮山戸町14-50 / 070-3280-2655

大阪維新の会枚方市議会議員団から緊急要望書を提出

実現! 子育て特別給付金の **現金10万円一括給付**

実現! 所得制限を撤廃、**18歳以下の全ての子どもに支給**

実現! 妊婦の方への給付 **府内初!**

11月19日に閣議決定された、国の子育て世帯への支援策である18歳以下の子どもを対象とした「臨時特別給付金」について、大阪維新の会枚方市議会議員団は「子育て世帯への臨時特別給付金における緊急要望」を、伏見市長に提出しました。

要望内容

- 1 子育て特別給付金のクーポン5万円相当を現金で対象世帯に給付すること
- 2 子育て特別給付金を可能な限り現金10万円一括給付すること
- 3 妊婦の方に対しても同様に給付金を支給すること
- 4 市独自で所得制限を撤廃して18歳以下のすべての子どもに支給すること

12月本会議で、子育て世帯への臨時特別給付金に係る一般会計補正予算を審議し、可決されました。

大阪維新の会枚方市議会議員団として質疑を行い、12月本会議ではプッシュ型で支給する対象者の方へ、年内に子ども1人当たり10万円を一括で支給できることになりました。

一方で、コロナ克服のための経済対策として18歳以下の子どもを養育される方の制限を定めることで不公平感などがあり、全ての子どもを支援する観点からも、市独自で支援を進める必要があると考えており、速やかな対応を要望し、市からは「所得制限などで国の支援の対象外となる方々へは市独自に支援策を検討していく」との答弁がありました。

子育て世帯への臨時特別給付金で国制度の給付対象外となった子育て世帯への給付・妊婦の方への給付が決定

- 1 子育て世帯への臨時特別給付金の国制度の所得制限以上及び離婚等により国制度の給付対象外となっている子育て世帯への10万円の給付
- 2 令和4年1月1日時点で妊娠中の妊婦の方及び3月31日までに妊娠届出書等を提出された妊婦の方への10万円の給付

1月緊急議会において上記が一般会計補正予算案として可決し、実現することになりました。**特に、妊婦の方への10万円の給付については大阪府内初とのことで、報道もされました。**



教育子育て常任委員会の副委員長を拝命しました

就学前の教育・保育施設に係るひらかたプランにおける後期プランの策定について

令和3年度、教育子育て常任委員会では、様々な課題について議論してきました。



枚方市では、民営化による財源を活用して様々な子育て支援策の充実につなげることを目的として、今年度までに8か所の公立保育所の民営化が進められており、阪保育所及び桜丘北保育所については、令和5年度に民営化が予定されています。

民営化後に行われた保護者へのアンケート調査では、これまでの民営化園の平均で73%が保育に満足と回答されています。

一方、民営化は、運営主体が直営から民間法人に移管され、職員もほぼ入れ替わることから、子どもたちへの影響に対する懸念や、民間に移管されることで保育水準が低下するのではという不安の声も聞きます。今回の阪及び桜丘北保育所の民営化については保護者への通知が突然であり、保護者や子どもたちに相応の不安や不信感を与えたことは否めず、こうした指摘を市は真摯に受け止め、丁寧な説明に努めるよう求めました。

『文通費等の見直しを求める意見書』が全会一致で可決

文通費については、公の書類を発送し及び公の性質を有する通信をなす等のため、全ての国会議員に毎月100万円が支給されていますが、法律上、「使途報告書の提出、領収書の添付、残金の返還等」の規定がありません。

枚方市議会においては、政務活動費について市民への説明責任を果たすべく、使途や運用に係る具体的基準を定め、適正かつ透明性の高い執行管理を図っており、国会においても文通費及び立法事務費の使途の透明性と公正性の担保を図るべきです。地方議会で取り組んでいる内容をぜひ国会でも議論し、国民感覚と離れたこの文通費を改善していただきたいと思えます。

新型コロナウイルス感染症対策についての要望書を複数回提出!

新型コロナウイルス感染症対策について、枚方市議団は計7回にわたって枚方市に要望書を提出してきました。意見交換の時間もいただき、多数の市民の方々、様々な業種の方々からご意見を頂き、その都度必要な施策を要望書として提出してきました。今後も一丸となって、引き続きコロナ対策に取り組んでまいります。



PROFILE —プロフィール—

門川ひろゆき

1983年生まれ。きよし幼稚園、中宮小学校、中宮中学校、四條畷高等学校卒業。維新政治塾第4期最優秀塾生。日本大学法学部。

(一社)枚方青年会議所理事。

2019年5月より枚方市議会議員。大阪維新の会枚方市議会議員団所属。教育子育て常任委員会副委員長。北河内4市リサイクル施設組合議会議員。議会報編集委員会委員

市議会でもペーパーレス化が進んでいます!

議案内容の確認などはタブレット端末で行うようになりました。働き方改革につながるICT促進については何度も意見・要望しており、枚方市でも少しずつ実現しています。



枚方市駅周辺再整備における取組状況について

市議会では、枚方市駅周辺再整備における取組状況について全員協議会を行い、計画内容や進捗状況について協議を行いました。

この間に行われたワークショップや市民アンケート結果について内容を確認し、新しい駅前を市民と共につくっていくため、また、機運の醸成のためにも積極的な変化を演出していく必要があることを述べさせていただきました。そのうえで社会実験的にさまざまなイベントを市民と共に作り上げ、全庁一丸となって事業を進めていただくよう要望致しました。

今後、目に見える形で駅前開発が進んでいきます。注目度の高い事業である市駅周辺再整備が中途半端な形にならないよう、しっかりと計画を進めてまいります。

市政に関するお問い合わせは

070-3280-2655

info.kadokawahiroyuki@gmail.com

https://h-kadokawa.jp/

〒573-8666

住所 枚方市大垣内町2-1-20

枚方市役所4階 大阪維新の会枚方市議会議員団



公式SNSも運用中!



WEBサイト Instagram



一般質問

» 教育のまち「枚方」を目指す

ICT教育への積極的な取り組みで、子育て世帯を呼び込むための枚方市の強みにも

昨年度、本市の市立小・中学校の全児童・生徒へ1人1台のタブレット端末配備が完了、LTE仕様により、学校外でも使用できるようになり、タブレット活用の可能性を大きく広げることができました。ICT教育に枚方市は積極的に取り組んでおり、全国でも注目される導入事例としてインターネットニュースなどでも取り上げられました。



今後は、活用方法など他市町村のモデルとなるよう、情報教育推進ワーキングチームをはじめ現職の先生方のアイデアや、また外部からも積極的に活用方法の情報を入手し、先進的な取組を進めていただき、引き続き、教育委員会と学校現場が一丸となって、よりよい環境整備を進めていただくよう要望しました。

» 「子育て」を枚方のブランドに!

総合型放課後事業について、数か所でも土曜日に長時間対応できる居場所の提供も検討を

放課後事業については、現在、留守家庭児童会室を利用されている保護者の方から、本市が土曜日については年間10回程度の臨時開室のみの実施であり、近隣他市と比べ少なく、お子さんの預け先に困っているとの相談を受けることがあります。

この総合型放課後事業では、放課後子ども教室を平日、土曜日、三季休業期に実施することで、土曜日や三季休業期を含む居場所の確保を図るとしており、毎週土曜日に居場所ができることについては一歩前進ですが、例えば数か所でも土曜日に長時間対応できる居場所の提供も検討いただくよう要望しました。

また、ICTを活用した児童の入退室管理は、児童の居場所を確認できるなど安全対策が図れるとともに、職員の負担軽減を図るための業務改善としても大きな効果が期待できるのではと質問し、「今後、費用対効果も含め、活用方策について検討していく。」との答弁をいただきました。これまでも、様々な事業でのICT活用推進について要望してきましたが、総合型放課後事業においても、児童の安全対策や業務改善のための前向きなICT活用の検討を要望しました。

» 「子育て」を枚方のブランドに!

フラットな教育環境につながる子育て支援を果すため、全員給食の検討とともに、給食費の無償化を目指す必要があるのでは

市長公約に掲げる「中学校の全員給食」について、大阪市の給食費無償化が報道されたことで、全員給食だけではなく、全員無償給食についても議論すべきと考えます。

枚方市の学校給食を無償化した場合の年間経費は、中学校で約6億9,000万円、小学校で約9億7,000万円、合わせて約16億6,000万円、この総額から、現在経済的な支援として支給している扶助費等の約3億3,000万円を除いた約13億3,000万円が新たに必要な経費であり、これとは別に、調理・配送・配膳委託などの経費も、現行より多くの費用が必要とのことでした。(概算の試算:現時点での給食提供回数と児童・生徒数をベースに換算)

もちろん財政面での考慮は必要であり、給食費無償化には大きな費用負担を伴いますが、本当の意味で子育て支援を果すために、中学校の全員給食を検討する中で、最終的には給食費の無償化を目指す必要があるのではないかと考え、今後、持続可能で安定的な学校給食について、民間のノウハウの活用など、財源確保とコストの抑制が着実に実行できるものを検討し、将来の給食無償化を目指すものとなるよう要望しました。

▼2022年3月現在の大阪府下(中核市規模以上) 中学給食全員喫食の動きについて

政令指定都市	大阪市 堺市	現在全員喫食制 全員喫食への移行を決定
中核市	東大阪市 豊中市 枚方市 吹田市 高槻市 八尾市 寝屋川市	現在全員喫食制 令和4年度中に全員喫食実施 検討中 検討中 現在全員喫食制 未定 現在全員喫食制

» 枚方の地域活性化をはかり、「成長」を推進!

大阪府下では2件だけの国の特別史跡、百済寺跡再整備について

百済寺跡は大阪府下では大坂城址と百済寺跡の2件だけという国の特別史跡でもあります。百済寺跡の再整備については、地域や関係団体などから今後の展開に高い期待を抱いていただいております。枚方市にとっても重要な事業と考えます。



市役所では、百済寺跡再整備に関係する部署が複数にまたがっており、連携が不足しているようにも感じます。例えば、本市の子どもたちが歴史に興味を持つきっかけに、また、市民団体と連携し、歴史を通じた交流を広げるためになど、百済寺跡の活用方法について地域と行政が一体となってアイデアを出し合えるような会議体やチームづくりが必要ではないかと考え、官民連携の仕組みづくりなどを要望しました。

» 安全・安心で快適な住環境の整備

新名神高速道路建設に係る高架下空間の活用について、沿道地域の方々生活環境にも十分配慮を

新名神高速道路は、日本の大動脈である名神高速道路の交通機能を補完することにより、西日本地域の国民生活、産業の更なる発展に寄与するだけではなく、本市にとっても利便性の向上や都市間交流の促進、災害時の広域輸送ルートの確保など効果が期待できる一方、沿道地域の生活環境に負担を与えていることも事実であり、新名神高速道路の整備に当たっては、工事期間中及び高速道路供用後も安心して住み続けることができる地域となるよう生活環境に十分配慮するとともに、沿道地域の方々が少しでも恩恵を享受できるよう、高架下空間の活用をはじめとする環境整備について、しっかりとNEXCO西日本や大阪府等との連携した取組を進めていただきたいと要望しました。



» 共生社会の実現へ!

高齢者のICT利用促進の取組が、地域の活性化に貢献する交流の場としての広がりも視野に施策の推進を

日常生活において、スマートフォンなどICT機器が持つ役割は次第に大きくなりつつあり、活用の有無で生活の質が大きく左右されることもあります。そのため、高齢者の方のデジタルデバイス(デジタル格差)解消に向け、ICT利用についてのサポートや情報提供など、利用促進を図る必要があると考えます。地域でスマホをはじめとしたICTの普及が進めば、そのことを前提に行政手続のオンライン化を積極的に進めることができ、ひいては行政の効率化、スマートシティの実現にもつながる可能性もあります。とはいえ、やはり全ての高齢者がスマホ利用を始めるというのは現実的ではありません。例えば老人クラブなどで講座を開くなど、地域の活性化に貢献する交流の場としての広がりも視野に入れ、今後のICT利用促進施策を進めていただきたいと要望しました。



» 「子育て」を枚方のブランドに!

子どもの医療費助成制度は、18歳までの対象年齢拡大を早期に実施。子育て環境の充実を

枚方市では、子どもの医療費助成制度の対象年齢は15歳、中学校3年生までで、枚方市独自の支援として、平成30年7月から、子ども医療費助成の対象者が複数いる世帯を対象に、対象者全員の自己負担額を合計して月2,500円を超えた場合、超えた分を返還する取組を行っています。

一方で住宅情報サイトでは、子育てしやすい自治体かどうかの指標として、子ども医療費助成の対象年齢が何歳までかということが比較され、ここ数年、毎年記事が出ており、大阪府下の中核市では、既に本市以外は18歳までを対象としています。本市は、世帯合算や入院時の食事代の助成といった面で頑張っていますが、選んでもらえるまちを目指すというのであれば、ぜひ18歳までの対象年齢拡大を早期に実施していただきますよう要望しました。

18歳まで無料化	15歳まで無料化
政令指定都市 大阪市 堺市	中核市 枚方市
中核市 東大阪市 豊中市 吹田市 高槻市 八尾市 寝屋川市	

» 枚方の地域活性化をはかり、「成長」を推進!

コロナ後のにぎわいづくりについて

ひらかたパークは、本年、110周年を迎えられ、枚方市も市制施行75周年となる中、淀川河川敷では民間が主体となった花火大会が開催されようとしており、大きな節目となるこの年における取組について、枚方市としても民の活動をサポート・連携し、枚方市を盛り上げ、魅力の向上につなげていただきたいと要望しました。



その他の質問

枚方の地域活性化をはかり、「成長」を推進!
枚方市史編さんと文化財行政の在り方について

教育のまち「枚方」を目指す!
学力向上に向けた取組について

枚方の地域活性化をはかり、「成長」を推進!
街区のまちづくりについて
市駅周辺再整備について
市内の道路ネットワーク整備について

誰もが安全で安心して暮らすことができるまちづくり
自治会における防犯灯の維持管理について

教育のまち「枚方」を目指す
新しい学校づくりについて